

令和 3年度

事務事業評価表 ( 令和 2年度 の実績評価)

記入年月日  
令和 3 年 4 月 21 日

Table with columns: 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, 法令根拠. Includes details for '電算システム運用管理事業' and '情報管理事業'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像), ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Describes system management tasks and user support.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns: ①手段 (担当者の活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), ②対象 (誰、何を対象にしているのか), ⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標), ③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか), ⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標). Includes metrics like '管理作業時間数' and '機器故障発生件数'.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input costs and personnel. Columns include 01年度(実績), 02年度(実績), 03年度(計画), and 期間限定総投入量. Rows include '国庫支出金', '事業費計(A)', and '正規職員従事人数'.

Table comparing actual vs budget costs. Columns: 02年度事業費 実績 (千円), 03年度事業費 予算 (千円). Rows include '13 使用料及び賃借料' and '合計'.

事務事業名	電算システム運用管理事業	事務事業No.	60304000257	所属課	企画課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 桜川市発足当初は電算業務システムの賃貸借、パッケージソフトウェアに維持保守が必要とされた。 平成22年度よりパッケージソフトウェアのレンタル、そしてプライベートクラウド型に電算システムを切替る。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 障害等の発生しない安定した稼働を絶えず職員から求められている。					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 住民記録・市税・福祉・財務等の多くの事務事業を効率的に進めるためには電算システムの採用は必要不可欠であり、市民サービスの向上や事務の効率化が図られる。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 業務システムが扱う事務の効率化の観点から電算システムの採用は効果がある。 また、本事務事業はその機能維持のために必要である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input type="checkbox"/> 向上余地がない 対象の「導入されている電算業務システム」、意図の「障害等の発生防止」については適切である。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 事務効率を向上させる為に必要な要望等をシステムに反映させる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/> 具体的な手段、事務事業名 <input type="checkbox"/> 余地がない コンピュータシステムに変わる手段はない。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input type="checkbox"/> 削減余地がない 保守費用はシステム使用料に含まれている。 賃貸者契約の更新時期に合わせて経済的なシステム構成で調達する。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 本事業により処理時間の短縮が図られることから、住民サービスに公平且つ有効的に作用している。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)														
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	電算システムを利用しないと住民記録、市税、福祉業務、会計処理等の事務を行えず電線システムは必要不可欠となっているが、その経費の負担が大きい。また、委託業者が提供する電算システムを利用する事から、仕様変更を職員が行う事が不可能である。														
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)														
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる														
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td rowspan="2">向上 維持 低下</td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">X</td> <td style="text-align: center;">X</td> </tr> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加			○	X	X
成果	向上 維持 低下	コスト														
		削減	維持	増加												
		○	X	X												
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ③														

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>